



残った草に、 とどめの一剤!



**ノビエ、
難防除雑草、**
(クログワイ、オモダカ、シズイ等)
抵抗性雑草を
(ホタルイ、コナギ、アゼナ類等)
まとめて防除!!

水稲用 中・後期除草剤

ヒエクリーン[®] バサグラン[®]粒剤



ヒエクリーン[®]はクミアイ化学工業(株)の登録商標
バサグラン[®]はBASF社の登録商標
ヒエクリーンバサグラン粒剤は、
「稲発酵粗飼料生産・給与技術マニュアル」に記載

ヒエクリーン[®]バサگران[®]粒剤

- 有効成分:ピリミノバックメチル……………0.40%
- ペンタゾン(ナトリウム塩)……………11.0%
- 安全性:普通物(毒劇物に該当しないものを指していう通称)

特長

- 2成分の中後期剤で、初期剤や一発剤との体系処理に最適です。
- SU抵抗性雑草にも高い効果を示します。
- 殺草スペクトラムが極めて広く、難防除雑草にも有効です。
- 散布適期が長く、ゆとりをもってできます。
- 稲や環境に高い安全性を示します。

殺草スペクトラム

雑草名	一年生雑草			多年生雑草						
	ノビエ	カヤツリグサ科	コナゼ	マツバイ	ホタルイ	ウリカワ	ミスガヤツリ	ヘラオモダカ	オモダカ	シズイ
処理時期										
移植後15日～ノビエ4葉期 但し、収穫45日前まで	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(注) 除草効果 ○:卓効 ○:有効 △:やや不十分 ×:不十分

上手な使い方

1. 散布の前に

- ①田面の土壌表面がなるべく均一になるようにいねいに砕土・代かきし、均平となるように整地してください。
- ②漏水の多い水田、極端な浅植えの水田、浮き苗の多い水田、植穴の戻りが悪い水田では使用をさけてください。

2. 天候

- ①散布後に晴天が続くと効果の発現が早く安定します。
- ②散布後2日以内に大量の降雨があると効果が十分発揮されないことがあります。晴天が続く条件を選んで散布してください。

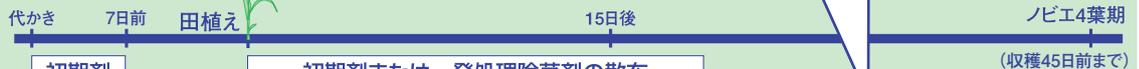
3. 水管理と散布

- ①しっかり止め水をしてください。
- ②雑草が、水面上に出る状態の浅水にしてください。
- ③10アール当り3kgを均一に散布します。手散布や動力散布機などで散布してください。
- ④散布後は水口・水尻を止めたまま、少なくとも2～3日間は放置し、その後、入水し、通常の湛水状態を保ってください。散布後、7日間は落水・かけ流しはしないでください。

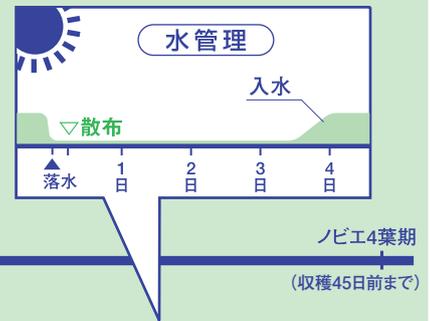
4. 散布適期(移植水稲)

- ①移植前後の初期剤ないし一発処理除草剤の散布後の体系処理剤として散布してください。
- ②ノビエについては、気象条件や圃場条件により、発生時期や生育スピードが異なる場合がありますので、移植後15日～ノビエ4葉期までの散布適期に散布してください。
- ③ノビエ以外の雑草の散布適期は下記の通りです。
ホタルイ…4葉期まで ミスガヤツリ…4葉期まで
ヘラオモダカ…4葉期まで ウリカワ…4葉期まで
オモダカ…矢尻葉抽出期まで クログワイ…草丈15cm前後 シズイ…草丈30cmまで
- ④右の図を参照に散布してください。

使用時期



使用薬量 /10アール当り **3kg** (1袋)



ヒエクリーンバサگران粒剤散布適期

(最適期:ノビエ3葉期)

■使用上の注意事項

1. 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
2. 本剤はノビエの発生前から4葉期に有効であり、イネ科以外の雑草には生育期に有効であるので時期を失ないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布してください。ホタルイ、ミスガヤツリ、ヘラオモダカ、ウリカワは4葉期まで、オモダカは矢尻葉抽出期まで、クログワイは草丈15cm前後、シズイは草丈30cmまでが本剤の散布適期です。
3. オモダカ、クログワイ、シズイは発生期間が長く、遅い発生のもので十分な効果を示さない場合があるので、必要に応じて有効な前処理剤と組み合わせて使用してください。
4. 苗の植付けが均一となるように、代かきおよび植付作業はていねいに行ってください。未熟有機物を使用した場合は、特にていねいに行ってください。
5. 散布の際は、本剤は水の移動に伴う移行性が大いなので、水の出入りを止めて、ごく浅水状態(雑草が水面上に出る状態)にして田面に均一に散布し、少なくとも2日間はそのままの状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。深水にすると効果が劣るので注意してください。

6. 処理後2日以内に降雨があると効果が不十分になるおそれがあるので、晴天の持続する時を選んで使用してください。万が一散布後に降雨があった場合は、落水させずそのままの状態を保ってください。
7. 以下のような条件下では薬害の生じるおそれがあるので使用を避けてください。
①砂質土壌の水田、漏水田(減水深2cm/日以上)。
②軟弱苗を移植した水田。
③極端な浅植えの水田および浮き苗の多い水田。
8. 散布後の数日間に著しい高温が続く場合、初期生育が抑制されることがありますが、一過性のもので次第に回復し、その後の生育に対する影響は認められていません。
9. 本剤を散布した水田の田面水を他の作物に灌水しないでください。
10. 河川、湖沼、地下水等を汚染しないよう、落水、かけ流しはしないでください。

11. 本剤はその殺草特性からくわい、せりなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分に注意してください。
12. 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。

■安全使用上の注意

1. 誤食などのないよう注意してください。
2. 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
3. かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。

詳しい使い方、登録内容とSDSはこちらから。



●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●防除日誌を記載しましょう。

本資料は2025年5月現在の知見に基づき作成しています。 2499(25-5)

自然に学び 自然を守る

クミアイ化学工業株式会社

本社:東京都台東区池之端1-4-26 〒110-8782 TEL03-3822-5036
ホームページアドレス <https://www.kumiai-chem.co.jp>